**荏原第五地区委員会 『文化イベント羽子板・小物入れ作り』**

昨年12月15日(金)荏原第五区民集会室にて、荏原第五地区委員会主催の文化イベント「羽子板・小物入れ作り」が行われ、約50人が参加しました。

開会のあいさつで、地区委員会の平林会長から「こういった地域の事業が再開してきていることを嬉しく思う」と一言。

今回は、羽子板職人の水門俊裕さんを先生としてお招きしました。水門さんは東京都浅草出身で、代々続く「際物屋」の五代目際物師として活躍中です。（際物師とは、日本の伝統行事に売る品物を作る職人のこと。）

参加者らには、手のひらサイズの羽子板と小物入れの他、飾りつけの部品が配られ、思い思いの作品が作られました。羽子板は今年の干支である「辰」の図柄だったので、目や鼻などの細かい部分の作業に、悪戦苦闘している様子でした。

当日補助を務めた地区委員からは、「今回は平日の開催ということもあり、子どもの参加を見込めなかったが、今後は若い世代にも積極的に参加できるようなイベントにしていきたい」という声が挙がりました。

来年度も、今回のような参加者が楽しめるイベントの実施が期待されます。